

語句	説明
OJT	<p>OJTとは「On-The-Job Training」の略称で、実際の仕事現場で業務を通して行われる教育訓練のことです。具体的には、仕事に必要な知識やスキルを上司や先輩社員などの指導担当者が現場で随時伝えながら教育・育成していく方法で、マニュアルや研修だけでは伝わらない知識やスキルを身につけることができます。</p> <p>一方で、実際の職場を離れ、研修やセミナー、通信教育等を通じて技術や知識を身につける教育訓練であるOFF-JT(Off-The-Job Training)もあります。</p>
HACCP	<p>HACCP(ハサップ)は、「Hazard(危害) Analysis(分析) and Critical(重要) Control(管理) Point(点)」の頭文字を取っています。元々はNASAが宇宙食の製造の際に開発した手法で、食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因(ハザード)を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷までに至る全ての工程の中で、それらの危害要因を除去・低減させるのに重要な工程を特に厳重に管理することにより、製品の安全性を確保しようとする食品衛生管理の手法です。従来の抜取検査による衛生管理に比べ、問題のある製品の出荷をより効率的に防ぐことができます。</p>
ISO22000	<p>ISOとは、スイスのジュネーブに本部がある非政府機関「国際標準化機構(International Organization for Standardization)」の略称です。ISOは、国際的に通用する規格を制定することを主な活動内容としており、ISOが制定した規格を「ISO規格」と呼びます。</p> <p>ISO22000は、ISO規格の一種で、食品安全管理に関する国際規格です。HACCPの内容をすべて含んだ上に、さらに組織の仕組みづくり(食品マネジメントシステム)に関する要項も加味された国際的な認証です。</p>
FSSC22000	<p>オランダに本部があるFSSC(食品安全認証財団 Food Safety System Certification)が開発・運営している規格で、ISO22000よりもさらに条件が厳しい国際的な認証です。</p>
BtoB	<p>BtoBは「Business to Business」の略称で、メーカーとサプライヤー、卸売業者と小売業者、元請け業者と下請け業者など、企業間で行われる取引のことをいいます。「B2B」と表記されることもあります。</p> <p>店頭での買い物や飲食店での食事など、一般消費者が企業に代金を支払って商品やサービスを購入する取引のことは、BtoC(Business to Consumer(Customer))と呼ばれています。</p>
ワークライフバランス	<p>「仕事」と、育児・介護・趣味・学習・休養・地域活動など「仕事・以外の生活」との調和を図り、その両方を充実させる働き方・生き方のことを言います。</p>
5S活動	<p>5S(ごえす)とは、職場環境を整えるための5つの要素「整理(Seiri)」「整頓(Seiton)」「清掃(Seisou)」「清潔(Seiketsu)」「しつけ(Shitsuke)」のことで、5S活動とは、職場でこれらに取り組みするための仕組み作りや改善のことをいいます。</p>
ESG経営	<p>ESGは、「Environment(環境)」「Social(社会)」「Governance(社内統治・管理)」の頭文字が由来です。自らの利益(売上げ)だけでなく、これら3項目についても配慮しながら経営を行っていくことをいいます。</p>
ECサイト	<p>インターネットによる商品やサービスの販売サイトのこと。ECはElectronic Commerce(エレクトロニックコマース=電子商取引)の略です。</p>